



2019年 3月 29日

各 位

会社名 イオン九州株式会社  
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 柴田 祐司  
 (コード番号：2653 JASDAQ)  
 問合せ先 取締役執行役員 管理本部長 平松 弘基  
 (電話番号 092-441-0611)

当社の親会社名 イオン株式会社  
 代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也  
 (コード番号：8267 東証第1部)

### 特別利益、特別損失の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年2月期決算（2018年3月1日～2019年2月28日）におきまして、特別利益および特別損失を計上いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。また、2019年2月期の通期業績予想を修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別利益の計上について

「平成30年7月豪雨」により被災した資産に対する保険金の精査をすすめてきた結果、その金額が確定いたしましたので、2019年2月期第4四半期会計期間に受取保険金として、848百万円を特別利益に計上いたします。

#### 2. 特別損失の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に従い、当社の保有する固定資産についての将来の回収可能性を検討した結果、2019年2月期第4四半期会計期間に減損損失として、902百万円を特別損失に計上いたします。

#### 3. 業績予想数値の修正について（2018年3月1日～2019年2月28日）

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	224,000	50	100	—	円 銭 —
今回修正予想 (B)	224,350	50	255	165	8 77
増減額 (B-A)	350	0	155	—	
増減率 (%)	0.2	0.0	155.0	—	
(ご参考)前期実績 (2018年2月期)	232,076	874	1,377	101	5 40

#### 4. 修正の理由

第4四半期において、食料品・日用品の一部商品の値下げやセールスの見直し、店舗スペースを活用した催事企画の実施など収益の確保に取り組む一方で、デジタル販促の活用や働き方の見直し等、効率的な店舗運営による経費の低減に努めた結果、営業収益および営業利益は前回業績予想値を確保できる見通しとなりました。経常利益につきましては、営業外収益および営業外費用の精査をすすめた結果、前回予想を上回る見通しとなりました。また、2019年1月9日にお知らせいたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」において未定としておりました当期純利益の予想につきましては、上記の通り特別利益、特別損失の金額が確定したことを受け、165百万円に修正いたします。

なお、配当予想につきましては変更いたしません。

\*上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上